

# HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL (0463) 81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL (0463) 81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 諸星道治 幹事 鈴木和夫 会報委員長 山田文雄



## インスピレーションになろう

2018年～2019年度国際ロータリー会長  
バリール・ラシン

第1639回例会 2019年2月21日(木)(曇)

司会 陶山典之副幹事  
点鐘 諸星道治会長  
合唱 「それこそロータリー」(原恵美子さん)

### 会長の時間

○2/19(火)の伊勢原平成RCさんとの合同例会ですが、事務局と書記を含め19名で行って来ました。結構充実した例会で良かったと思います。

また今まで知らなかったことや、クラブによってやり方が違うことなども感じました。これが良いのか悪いのか分かりませんが、例えば“スマイル”に関しても伊勢原平成RCさんは今年度集めたスマイルは次年度予算として使うが、我がクラブは今年度のスマイルは今年度に使うという違いがありました。

○MOA美術展の入賞作品の冊子を回覧しますので、閲覧願います。

○会長幹事会について報告します。

①青少年交換ホストクラブ向けの説明会ということで、3月2日(土)、ガバナー事務所で開催されますので必ず次年度の会長・幹事・青少年奉仕委員長・カウンセ

ラーの方は出席をお願いします。

②会長エレクトの研修セミナーも3月12日(火)、藤沢商工会議所ミナパークで開催されますので、これも必ず出席をお願いします。欠席されると、2回目の集合を掛けられるとの事です。

③2019-2020年の会長テーマは「ロータリーは世界を繋ぐ」ということだそうです。新会長は、マークダニエルマローニという方です。この方は8月に日本に来訪され、福島を視察、鎌倉に宿泊とのことです。

④伊勢原RCの50周年記念式典(5/11)ですが、伊勢原3クラブは全員登録、秦野は秦野RCのみ全員登録であるとの2クラブは任意で出席者のみ会費を支払うということで決まりましたので、ご承知下さい。

⑤4月21日(日) 地区研修協議会が開催されます。場所は茅ヶ崎です。これは人数が800人以下ですと、赤字になってしまうとの事ですので皆様の出席をお願い致します。

○2/7(木)定例理事会報告について

詳細につきましては、ホームページ2/7の例会週報の後半部分に議事録を掲載しておりますので参照願います。

会員数	30名
出席義務	29名
出席数	18名
出席率	62.07%
前々回の修正	—%

メイクアップ	
--------	--

本日のプログラム	2月21日 ○卓話 酒井さん
----------	----------------------

次週のプログラム	2月28日 ○夜間例会 親睦ミーティング
----------	----------------------------

○3/1(金) 秦野市議会において木村眞澄さんが会派を代表して代表質問をされるとの事。時間は恐らく10:30前後になるようですので時間都合のつく方は是非傍聴に出席して頂きたいと思えます。

## 幹事報告

### 【受付文書】

- ①米山記念奨学会より、ハイライトよねやま 227
- ②シキホール島セントラルRC原田会長より、事業報告
- ③秦野バサデナ友好協会より、代表団来秦歓迎事業検討委員会の延期について
- ④相模原かめりあRCより、チャーターナイトのお知らせ
- ⑤東日観光(株)より2019年国際ロータリー年次大会参加旅行募集案内送付のご案内
- ⑥秦野市教育委員会より、平成30年度教育長表彰記念写真送付について

【本日の配布物】 ガバナー月信2月号

## 記念日

御誕生記念日 (会員) 神崎さん(2/24)、  
欠席分: 兒玉さん(2/4)



古谷さんお嬢様 御結婚祝い



## スマイル報告

- 諸星道治さん「2月19日の伊勢原平成RCさんとの合同例会如何でしたか?初めての経験でいろいろな意見が出て良かったと思えます。」
- 鈴木和夫さん「プログラムスケジューリングのミスで今週例会が2回になってしまいました。すみませんでし

- た!本日も出席頂いた方々に感謝!スマイルします。」
- 前肇さん「スマイルします。」
- 陶山典之さん「スマイルします。」
- 神崎達朗さん「誕生日のお祝いありがとうございます。いくつになったか思い出せません。」
- 桐山忠晃さん「暖かい日が続き春めいてきました。気を緩めず、風邪に気を付けましょう。」
- 兒玉秀夫さん「72才にスマイル。早退します。」
- 酒井健一さん「今日は卓話です。皆様に楽しく聞いてもらえるようになれば・・・」
- 西村隆之さん「スマイルします。」
- 原郁夫さん「先日鈴木幹事から素晴らしいアジの干物を頂きました。御馳走様でした。」
- 原恵美子さん「寒さもあと1ヶ月ぐらいでしょうか?花粉も全開!!5月の誕生日の頃まで続きます。それでも春が待ち遠しいです。」
- 古谷スミ子さん「本日は暖かい日です。春は近いのでしょうか。久しぶりに酒井さんの卓話を楽しみにしています。」
- 福原美千加さん「スマイルします。」
- 米山君夫さん「昨日、小田原のフラワーガーデンに行ってきました。200種の梅が咲き、見事な梅林でした。スマイルします。」

合計 46,000円

## 委員会及びその他の報告

<親睦活動委員会 諸星<sup>常</sup>委員長>

○来週2/28(木)、親睦ミーティングということで夜間例会となります。今日現在15名の出席となっており、少々残念ですが、とにかく楽しんで実施したいと思います。よろしくお願ひ致します。

<消防車関連 原<sup>郁</sup>さん>

○消防車のことで我が秦野名水RCがちょっと有名になったかなということで紹介します。先般事務局に、秩父市吉田総合出張所という役所から問合せがありました。その吉田総合出張所がタイのある町と25年前から友好都市となっており、そこでは日本から贈呈した消防車が走っているそうです。それでまた消防車を頂けないかと要請が来たそうで、送るにはどうしたらよいかノウハウが分からずいろいろ調べていたら、秦野市の我がクラブがタイへ消防車を贈呈しているということで、いろいろ揃える書類関係等、ご協力させて頂く事になりました。また別件で、NHKからも消防車のことで問い合わせが事務局にありました。消防車を秦野市の協力を得て東南アジアへ贈呈し続けてきたことが、ある意味有名

になってきたということをご報告させていただきます。

## 卓 話

<酒井 健一さん>



○今、原さんからお話しがあった消防自動車を一番最初に贈呈したのは13年前のことです。

当時、原さんが会長の時に計画されたのですが任期中に間に合わず、次年度会長の私にバトンタッチされ第一号としてタイに行って来ました。行先はナコンパノムというところで、飛行機で7時間、超小型機で1時間乗り、着いたときは夕方でした。その日は歓迎会が用意され、子供の一人がバイオリンで「粹な黒塚、見越しの松に…」の「お富さん」を演奏してくれました。このことに私はたいへん感動しました。タイ国では消防自動車を頂いたことに物凄く喜んでおられました。

○翌日は式典ですが、会場の公園では準備が出来ており皆さんともうれしそうでした。

そして消防自動車の脇にはタンクローリーが何台か待機しているのが不思議でした。いよいよ放水が始まる際にタンクローリーの蓋が開きその中にホースの吸い込み口を入れて放水を行いました。日本では、道路から水を引くわけですが、タイでは違いました。

○翌日は5時間位かかる観光でした。ガイドの方はタイ国の方と結婚された日本人の方でした。その方に伺ったところ、タイ国では年間火事の発生件数は7~8件でほとんどが間に合わないとの事。何故なら、郡部の方は電話もなく連絡手段がないため全焼してしまうそうです。

要は都市部のみで活用されている状況でした。

では消防自動車があっても役に立たないのでは・・・と思ったのですが、いえいえとても役立っていますとの回答で、翌日説明を受けました。それは、当地は40℃の気温で農作物は全滅、そこでこの消防自動車で、朝晩水を撒くことによって農作物が生育するので大いに役立っているとのことでした。本来の趣旨とは少々違いますがまあいいかと思いました。

○3日目に皆さんご存知の水上マーケットに行ってきました。“水上”と聞くと綺麗なイメージが湧くと思いますが、実際は川幅5m位のほとんど流れていないり川をモー

ターボートで上流に向かい、そこのお店で今日しているタイシルクのネクタイを買ってきました。

○私は4~5回行ってますが、その都度皆さんから大歓迎を受けております。ある時、村の中を遊園地にある機関車のようなもので回っていると村の人々は、先頭に警察の人がいて乗っている人は誰なんだろうと思っているようでした。そこで、この時に同行した古谷さんが車内から沿線の皆さんに手を振ったのですが、その姿はまるで“ミスたばこ”のようでした。

○また、学校に文房具を贈呈した際に、お返しにと籠にゆで卵を頂きました。その卵は饅えたような匂いがして食べられませんでした。中にはせっかく頂いたのだからと食べた人は案の定夜中にお腹を壊していました。しかし、文房具は大変喜んでもらえました。

○皆さんにはお願いがあります。消防自動車は贈呈してしまえばいいのだ、ではなくて是非現地に出向いて頂き、タイ国の人たちがどのような生活をして、いかに消防自動車を欲しているかを分かって頂きたいと思います。この事業も、ここ数年は贈呈して終わりが続いています。消防自動車と一緒に届けに行き、現地の皆さんと触れ合うのもいいものです。

そしてこの事業が長く続けられるようにご協力をお願い致します。